

## 庄内地域における森林整備について

### 1. これまでの森林整備の状況

庄内地域では、「やまがた緑環境税」を活用し、平成19年度から平成30年度までの12か年で荒廃のおそれのある森林の整備を約5,085ha実施しました。

来年度以降も引き続き、荒廃のおそれのある森林の整備を実施し、水源のかん養や山地災害防止等の森林の公益的機能が持続的かつ高度に発揮されるよう取り組んでいきます。

### 2. 令和元年度の森林整備について

#### 〈海岸クロマツ林整備〉

松くい虫被害により、活力が低下している庄内海岸のクロマツ林において、枯損木の枝折れ等による二次被害の防止を目的として森林整備を実施しました。被害量は減少傾向にあります。里山林再生に向け、継続して整備を実施していきます。



#### 〈針葉樹林維持型〉

長期間手入れされなかったことで生育不良となり、活力が低下しているスギ林において、公益的機能の高度な発揮を目的として間伐を実施し、健全なスギ林への誘導を図りました。森林整備後は林内に光が入るようになり、環境が改善されました。



#### 〈景観整備〉

市町が実施する幹線道路沿いで景観を著しく悪化させている里山林の整備に対し、支援を行いました。整備後は見通しが良くなり、景観が改善されました。



#### 〈作業道の整備・再造林等〉

林業事業者が実施する搬出間伐や作業道の整備、再造林に対し、支援を行いました。今後も再造林の促進等、森林の公益的機能の維持増進のために支援を継続していきます。



# やまがた絆の森づくり

## にしかわ絆の森

所在地 西川町大字沼山内(大沼キャンプ場隣接地) 面積: 1.7ha

協定者 日東ベスト(株)、沼山区、西川町、山形県

活動内容 日東ベスト(株)は、食品の製造工程や設備の洗浄で大量の水を使用しています。また、森は水を貯え、浄化し、私たちの生活を守っています。人の口に入る食べ物を扱い、また、美味しく食べてもらうには安全で良質な水の確保が必要であることから、上流の「森づくり」が必要と考えました。

植栽や下刈りはもちろん、遊歩道の整備としてラ・フランス枝のチップを雑草抑制とクッション材として遊歩道に撒く活動を中心に行っております。



下刈り体験



ラ・フランスチップ撒き

## 荘銀かねやま絆の森

所在地 金山町大字金山内 面積: 49.65ha

協定者 (株)荘内銀行、(有)三英クラフト、金山町、山形県

活動内容 荘内銀行では、二酸化炭素の吸収源確保や生物多様性の保全、環境教育の実践と当行役職員のコミュニケーション活性化を目的に、2010年に「荘銀かねやま絆の森」を開山して以来、山形県、金山町、三英クラフトと連携しながら植林、下刈り、つる切り、除伐などの保育活動のほか、自然観察体験、林産資源活用体験、木工クラフト体験など森に関わる様々な体験活動を通して、森林の保全や活用に関する重要性について理解を深めてきました。

森づくりには毎年、行内から積極的な参加者、新しい仲間が集まり、活動の輪が広がっています。多くの役職員が経験者となることで、森づくりに対する着意や活動への理解がより醸成されており、今後も、活動の定着化とコミュニケーションの活性化を一層図っていきます。

2020年度は、山形県、金山町、三英クラフトとの連携をさらに密にし、継続して森づくりに取り組むとともに、活動を通して、金山町を中心とする地域との交流を深め、森づくりを起点とした地域活性化に貢献していきたいです。



下刈り体験



木工クラフト体験

# 推進事業の取組み

(みどり自然課)

## 朝日相扶 絆の森 白鷹

所在地 白鷹町大字十王地内（白鷹町ふるさと森林公園） 面積：4.1ha

協定者 ㈱朝日相扶製作所、白鷹町、山形県

協定期間 第1期：平成25年2月14日～平成28年3月31日

第2期：平成28年4月1日～令和3年3月31日

活動内容 弊社は、木製家具製造に携わる社員に森や木に対する慈しみを育み、森の成り立ちについて学ぶことを目的として、平成25年度から白鷹町ふるさと森林公園内のブナ林の除間伐や下刈りなどの森づくり活動に取り組んでいます。ブナを100年育てることを考えれば実に壮大かつ地道な活動が必要と考えます。



## JTの森 鶴岡 厳しい自然と向き合う 三百年の知恵と遺産を未来に伝える

所在地 鶴岡市大字下川地内 面積：25.33ha

協定者 日本たばこ産業㈱、下川生産森林組合、鶴岡市、山形県

活動内容 2019年5月18日、「JTの森鶴岡」で森林保全活動が行われ、地元の方々をはじめ、JTグループ従業員とその家族など約160名が参加しました。活動前に「皇太子殿下御即位記念植樹」と「JTの森鶴岡第三期記念植樹」を緑の少年団と行いました。

今回の活動は、防砂林を再生するために、クロマツの幼木を植樹し、幼木を守る「木製の防風柵」を製作して、設置する活動です。「木製の防風柵」は間伐材を使い、地元森林組合などの方々の指導のもと参加者が力を合わせ製作して、植樹した幼木の場所に設置しました。

汗を流した後は、参加者全員で名物の「孟宗汁」の昼食をおいしくいただき、午後の活動で植樹地隣にある特産「庄内メロン」の栽培ハウスを見学し、防砂林が地域で果たしている役割について理解を深めることができました。

JTは、2009年4月に山形県、鶴岡市、下川生産森林組合（民有地所有者）と森林保全協定を結び、現在3期目の活動に入っています。暮らしや農地を守る防砂林としての機能を高める活動に取り組むとともに、訪れた方が森林と親しむことができる環境保全活動を目指します。



### (1) 市町村が地域の課題に応じて取り組む森づくり活動

(みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (市町村提案型))

#### 【山形市の取組み】

山形市では、平成30年度から山形市児童遊戯施設「べにっこ広場」と連携し、豊かな森や自然とのふれあい、木に親しむことの大切さを感じてもらい、森林資源の利用拡大に繋げるため「森に親しむ学習会」を開催し、木育活動の推進に取り組んでいます。

令和元年度は市報「広報やまがた」に掲載し応募のあった先着30組の親子を対象に、「家具工房モク」の指導のもと、様々な種類の木材を使った木琴づくりを体験し、木の種類の違いによる香りや音の違い、木の温もりを実感してもらいました。

今後もこの活動を毎年継続的に開催し、木育を推進していくとともに、親子で共同作業にすることで親子の絆を深め、自然を大切にする優しい心を育てることができるよう取り組んでいきます。



### (2) NPOや地域のボランティア団体などによる森づくり活動

(みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (県民提案型))

#### 【鶯の木川原に集う会の取組み】

「鶯の木川原に集う会」では、山形市上東山地区で里山の機能回復を目指し、荒廃した森林の下刈りや不良木の除去、散策路の整備などの活動を行っています。

令和元年度は、自然の大切さを知ってもらうため、一般市民の親子を対象にした巣箱を組み立てる木育体験学習を開催しました。この催しを通して、より自然を大切にする心が育まれるとともに親子の絆が深まったようです。

今後も市民と協働で森林の整備を行い、美しい里山づくりに取り組んでいきます。



#### 【虹のネットワークの取組み】

「虹のネットワーク」では、障害のある方ひとりひとりが自分のやれること、出来ることを考え共に働ける場所を作ることなどを目的として活動しており、その中で障害者の方と山形学園の子共たちが一緒に楽しむ木育活動を行いました。

切り出した木材全てにやすり掛けを行い、組み立てを行いながら、絵を書いたり色を付けたりと、それぞれ楽しみながら木製ブックスタンドを作製することができ、子供たちも喜んでいました。

来年もまた木育活動に取り組んでいきます。

